

ニカラグア定期報告（2024年7月）

【要旨】

内政面では、政府の構造改革により多くの閣僚及び政府高官らの異動があった。また、サンディニスタ革命45周年式典が開催され外国政府からの来賓が見られた。外交面では、中国で開催された「グローバル発展共有行動フォーラム第2回ハイレベル会合」にニカラグア政府からラウレアノ・オルテガ大統領顧問が出席した。経済では、米務省が2024年ニカラグア投資環境レポートを公表した。

【主な出来事】

1 内政

（1）閣僚及び政府高官の人事異動

ア アルレット・クリスティナ・マレンコ・メサ外務次官（総括）、外務省援助局長、国際関係担当大統領顧問の解任（7月23日付官報）

イ レオナルド・オビディオ・レジエス・ラミレス中央銀行総裁の経済・金融問題担当大統領顧問職兼務任命（7月24日付官報）

ウ カルロス・アルベルト・セルダ・ガイタン外務次官（国際問題担当）の解任（7月29日付官報）

エ タマラ・バネサ・マルティネス・サランテス女性大臣の辞任承諾（7月29日付官報）

オ ルシエン・ナイマ・ゲバラ・アグエロ青年大臣の解任及び女性大臣として任命（7月29日付官報）

カ ダルリング・デ・ロス・アンヘレス・エルナンデス・カストロ青年大臣の任命（7月29日付官報）

（2）サンディニスタ革命45周年記念式典の開催

ア 19日、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領が出席する中、サンディニスタ革命45周年を祝う記念式典がマナグア市内信仰の広場において開催された。オルテガ大統領からは平和を希求し擁護してきたニカラグア国民の勝利の証として平和が担保され治安が維持されていると強調する発言があった。また、通例どおり米国外交への批判の他、パレスチナ国民の置かれた状況を懸念している旨等が表明された。

イ 今次式典には、チウエンガ・ジンバブエ副大統領、ゴロフチェンコ・ベラルーシ首相、ラミロ・バルデス・メネンデス・キューバ副首相、イバン・ヒル・ベネズエラ外相、アフサール・ジオエフ「南オセチア」外相、ヴァチエスラフ・ヴォロージン露国家院議長他、外国政府からの来賓が見られた。

ウ 18日、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問は、今次式典に際して当国を訪問したゴロフチェンコ・ベラルーシ首相と会合を開き、二国間税関分野における相互協力・支援協定、ニカラグア法務庁・ベラルーシ法務省協力の覚書、二国間短期経済・通商協力発展にかかるロードマップ、二国間輸出クレジット・コンセッションにかかる合意について署名した。

ラウレアノ・オルテガ大統領顧問は、チウエンガ・ジンバブエ副大統領、ムサ・ハディッド・パレスチナ立法評議会副議長、Nguyen Minh Tam ベトナム国際問題中央委員会次長、Brahim Bougali アルジェリア国会議長、アフサール・ジオエフ南オセチア外相等と会談した。

2 外交

(1) モンカダ外相他のパナマ訪問

1日、モンカダ外相はパナマを訪問し、ムリーノ・パナマ新大統領就任式典に出席した。また、マルティネリ元パナマ大統領のインスタグラムアカウントによれば、モンカダ外相は今次訪問の機会に、在パナマ・ニカラグア大使館を訪れ、同館に非難し、亡命申請中の同元大統領と会合を行った（コロネル内務大臣、ベルムデス勸業・産業・通商大臣らが同席）。

(2) トランプ米大統領候補暗殺未遂事件に関する当国政府による非難

13日、ニカラグア政府は、米大統領候補であり前米大統領でもあるトランプ氏暗殺未遂に遭遇し、如何なる形の脅威も断固として拒絶し非難する旨のプレスリリースを公表した。

(3) グローバル発展共有行動フォーラム第2回ハイレベル会合（於：中国）へのラウレアノ・オルテガ大統領顧問出席他

ア 12日、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問を始めとする当国政府代表団は、北京にて開催されたグローバル発展共有行動フォーラム第2回ハイレベル会合開幕式に出席した。同開幕式においてラウレアノ大統領顧問は登壇し、グローバル発展イニシアティブを通じたニカラグア政府及び同国民への支援につき謝意を表明するとともに、対ニカラグア・中国支援プロジェクトの進捗状況について紹介しつつ、「一つの中国」原則へのニカラグアによる確固たる支持を再確認した。

イ 12日、ニカラグア政府代表団と中国国家国際発展合作署（CIDCA）との間で会合が行われ、ラウレアノ大統領顧問及び羅照輝（Luo Zhaohui）CIDCA 総裁は、「2025年～2027年中国・ニカラグア開発協力計画にかかる中国国家国際発展合作署・ニカラグア大統領府間覚書」、中国政府・ニカラグア政府間の「経済・技術協力協定」、「ニカラグア

公共交通機関としての大型バス供給についての交換公文」などの両国間の協力関係を拡大するための一連の文書に署名した。

ウ なお、9日、オルテガ大統領はラウレアノ大統領顧問に対し、大統領合意第106-2024号を以て2027年まで中国との合意書面にニカラグア政府を代表して署名する全権を付与していた。

(4) ベネズエラ大統領選挙結果にかかる当国声明他

28日、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領は連名の声明を発出し、マドゥーロ大統領の再選を祝福した。この声明を受け、29日、ヒル・ベネズエラ外相は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領に代わり、ニカラグア国民、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領からの連帯と愛に対する謝意を表明した。

3 経済

(1) 中国・ニカラグアFTA発効から半年時点での輸出入状況

本年1月に両国間FTAが発効したが、本上半期ニカラグア輸出総額（22億1,720万米ドル）においてシェアの36.5%が米国である一方、中国は商品輸出全体の1.9%（4,213万米ドル）にとどまった。なお、中国への輸出全体の60%を砂糖が占めており、残りは牛肉他多様な商品となっている。一方、中国からニカラグアへの輸入は14.65%（6億4,080万米ドル）を占めた。

(2) ニカラグアへの2024年第2四半期郷里送金額

ア 31日、中央銀行が公表したところによれば、第2四半期における郷里送金は総額13億3,690万米ドルに上り、前年同期比11.9%の成長（1億4,220万米ドル増）を見せた。なお、2024年1月から6月までの累積郷里送金額は24億7,780万米ドルで前年同期比11.9%の成長。

イ 送金元は、米国：83.3%、コスタリカ：7.1%、スペイン：5.6%、パナマ：1.0%、カナダ：0.7%。

(3) 2024年ニカラグア投資環境レポートの公表（米国務省）

17日、米国務省が同省公式HP上にて「2024年ニカラグア投資環境レポート」を公表したところ、概要以下のとおり。

ア 投資家是对ニカラグア投資に際して最大限の注意を払うべきである。オルテガ大統領及びムリージョ副大統領の下において、ニカラグアは憲法上保障されるべき国民の権利をたびたび反故にし、政治犯を留置し、私的財産を押収し、法規を無視し続け、悪評高いリスクと恣意的規制を伴う可変性の高い投資環境を生み出している。

イ 政府による抑圧と貧困の拡大にもかかわらず、ニカラグアは安定したマクロ経済のファンダメンタルズを維持しており、外貨準備高は50億米ドルという高値を記録、持続可能な対外債務額、良好に資金を有する銀行セクターを維持している。2022年及び2023年の過去に類を見ない数十万にも及ぶ米国へ向かうニカラグア人移民者の波により、郷里送金額は2023年に47億米ドル（ニカラグアGDPの約30%）という新記録を樹立した。

ウ もしも投資家の信頼が国内制度の強化と法整備改善によって回復するなら、ニカラグアの経済は未だ素晴らしい成長の可能性を秘めている。米国は、ニカラグアにとって最も大口の貿易パートナーであり、ニカラグアの輸入の30%を占めると同時に、ニカラグアの輸出先の55%を占めている。

<主要経済指標>

	2022年	2023年	2024年		
	5月	5月	4月	5月	6月
年間累計インフレ率	5.26%	2.73%	1.96%	2.58%	2.86%
貿易収支（百万ドル）	▲191.5	▲247.4	▲315.4	▲340.7	▲277.1
輸出 FOB（百万ドル）	396.5	389.7	408.7	356.8	372.2
輸入 FOB（百万ドル）	588.0	637.1	724.0	697.5	649.3
海外送金受取額（百万ドル）	266.0	426.2	449.4	462.4	425.1
外貨準備高（百万ドル/期末）	4,354.3	4,974.4	5,778.4	5,894.3	5,896.9

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）